

# 伊平屋空港の調査報告書1

パブリック・インボルブメント（ステップ1）



みなさんの  
考えやご意見を  
お聞かせください。

いげな



**伊平屋空港協議会**  
[沖縄県・伊平屋村・伊是名村]

パブリック・インボルブメントとは  
(Public Involvement)

「市民参画」または「住民参画」と訳されます。公共事業の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。

# 伊平屋空港のPIはどのように進めるの？



伊平屋空港協議会（沖縄県・伊平屋村・伊是名村）では、伊平屋空港の整備にあたってパブリック・インボルブメント（PI）手法を導入していきます。計画の段階から積極的に情報を提供し、みなさんのご意見を伺いながら検討を進めることとしています。

## PI手法とは？

「市民参画」または「住民参画」と訳されます。公共事業の施策を立案する際に、地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。

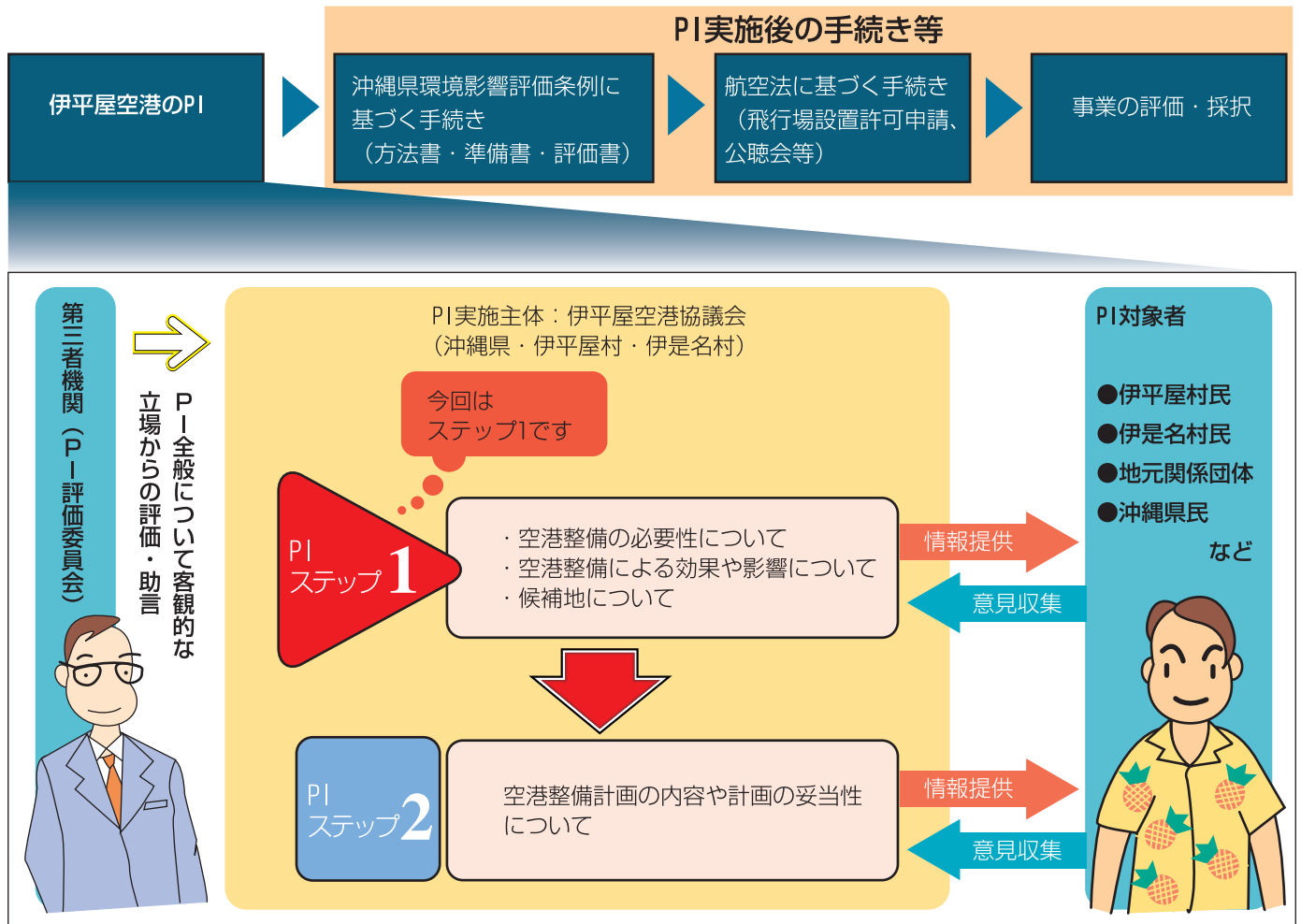
## ◎ どうしてPI（パブリック・インボルブメント）を行うの？

PIを実施することにより、以下のような効果が期待できるからです。

- ① 事業内容について、みなさんが良く知り、理解することができます。
- ② みなさんのご意見を踏まえ、より有益な事業とすることができます。
- ③ 事業に対する合意形成に向けた環境が整備されます。
- ④ 時間や費用を有効に活用でき、透明性、公平性を高めることができます。



## ◎ 伊平屋空港のPIの進め方



# どうして空港整備が必要なの？①

## ◎現在の交通事情は？

伊平屋村・伊是名村は沖縄本島那覇市の北約100kmに位置する離島村です。両村と運天港（沖縄本島）との間には、フェリーが運航しており、島の重要な交通手段を担っています。

また現在、伊是名村には利用者の要請があった時だけチャーター便による運航を行う場外離着陸場があります。

### フェリー乗船時間：

運天港－伊平屋間（前泊港）：約80分

運天港－伊是名間（仲田港）：約55分



伊是名村には610mの滑走路を持った場外離着陸場（平成10年8月に整備）があります。平成17年9月まで、那覇空港との間でチャーター便が定期運航をしていましたが、現在では利用者の要請があったときにだけチャーター便\*による運航を行っています。

\* 使用航空機：  
小型プロペラ機  
（旅客定員最大9名および3名）  
運賃は使用機材や利用人数によって異なります。



## ◎今の交通事情は何が問題なのかな？

### 移動にたくさんの時間がかかる。

伊平屋村・伊是名村から那覇市内まではフェリーを利用して約4時間かかります。

### 伊平屋村・伊是名村と沖縄本島を結ぶフェリーの欠航が多い。

伊平屋村・伊是名村と運天港を結ぶ唯一の交通手段であるフェリーは、台風の到来時期や冬の偏西風が強い時期には、荒天により欠航することが多くあります。続けて1週間以上も欠航することもあります。

フェリーの運航が不確かとなると、人の行き来が自由にできなくなったり、物資の輸送が滞ったりと、伊平屋村・伊是名村の人々の暮らしと経済にとって大きな問題となっています。

伊平屋航路：1年間で約105.3\*往復が欠航  
（多い年で120.5往復：平成16年度）

伊是名航路：1年間で約90.3\*往復が欠航  
（多い年で107往復：平成16年度）

\* 各年で多少のばらつきがありますが、3年間（平成15年度～平成17年度）の平均です。

伊平屋村・伊是名村は、日本本土はもとより、沖縄の中心地である那覇からの移動にも長時間を要し、人々が気軽に訪れることの出来ない離島となっています。このことは、両村が様々な地域活性化策を実施したとしても、他地域との交流が生まれにくく、その効果が十分に得られないのではないかと心配されています。



# どうして空港整備が必要なの？②

## 今の交通事情に対して皆さんから寄せられた声

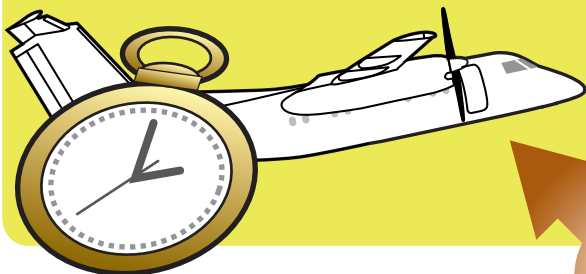
- フェリーが欠航し、定期通院や乳幼児の定期検診などに行けず困った。
- 伊是名～那覇間の航空が定期運航でなく、チャーター運航であるため、料金が高額である。
- フェリーが連続して欠航すると、チャーター運航以外に交通手段がなく、仕方なく利用する。
- 村外へ通院する際、医療費のほかに高額な交通費が重なり、経済的負担が大きくなる。
- 沖縄本島から戻る際、フェリーが欠航し、交通費、宿泊費、食費などの費用が必要以上にかさんだ。
- 船が欠航したため、親戚の結婚式に出席できなかった。
- 悪天候により村外へのお出張に行けなくて困った。また仕事が済んで村へ帰れなくなり困った。特に学校の教諭などの場合は、児童・生徒は授業が受けられず自習になる。
- 島外から講師などを派遣依頼する際、フェリーの運航状況により変更をしなければならず、調整に困った。

### ◎空港整備が必要な理由

#### ■移動時間を短くして豊かな暮らしの確保

伊平屋村・伊是名村から那覇市内まではフェリーを利用して約4時間かかります。

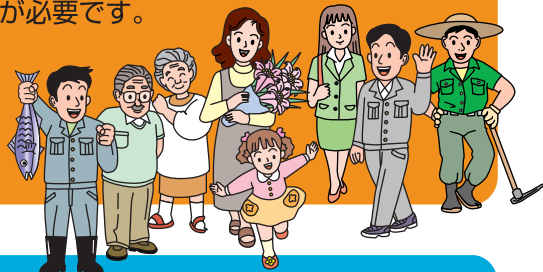
島の暮らしを豊かにするため、那覇空港を結節点とした航空ネットワーク網に両村を組み入れることが必要です。



#### ■島のくらしと経済を支える移動交通手段の確保

今のフェリーによる交通手段は、荒天による欠航が多く、人の行き来が自由でできなくなったり、物資の輸送が滞ったりと、伊平屋村・伊是名村の人々の暮らしと経済にとって大きな問題となっています。

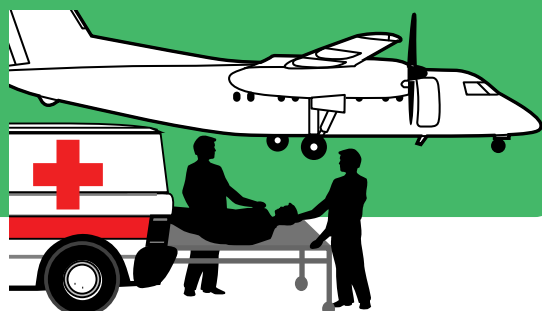
フェリーだけでなく、代替交通手段として航空が必要です。



#### ■緊急時でも早く確実に移動できる交通手段の確保

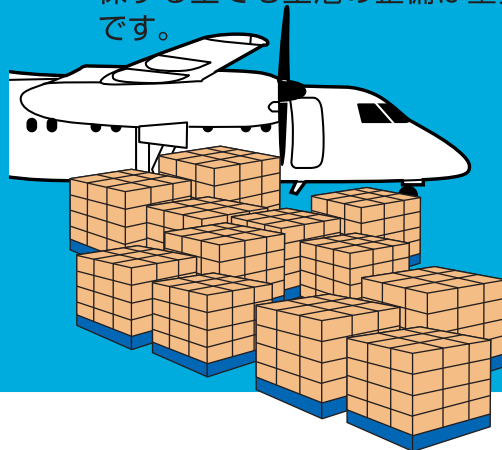
急病人が出た際、また冠婚葬祭行事へ列席する際には、早く確実に移動できなければなりません。

迅速で、フェリー欠航時にも運航の可能性のある代替交通手段としての航空が必要です。



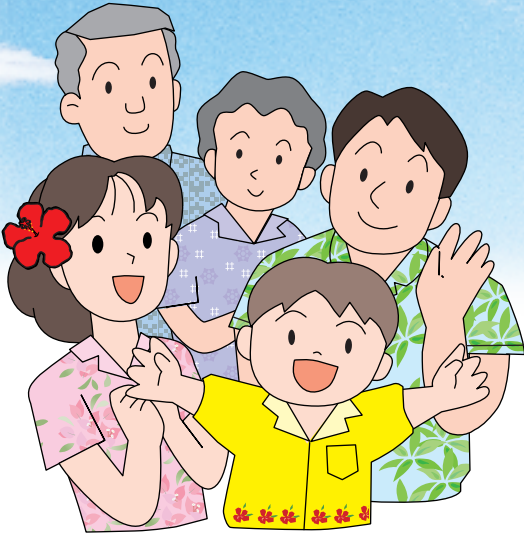
#### ■防災拠点の確保

台風や地震、津波などの自然災害時における緊急輸送拠点を確保する上でも空港の整備は重要です。



# 空港を整備すると、どんな効果や影響があるの？

これまでに行われたアンケートやヒアリング調査の中から、空港を整備することによって期待される効果、心配される影響について寄せられたご意見を整理しました。



## ◎島の活性化について

- 伊平屋空港を早急に着工し、海と空の交通網の整備を図り、若者が夢を持って帰島し活気ある島作りに参加してほしい。
- 本島中心部へ気軽に移動できると、生活範囲が広がり、さらに生き生きする。
- 島みんなが元気になる。
- 雇用が増える。

## ◎産業の振興について

- 観光客の増加や観光産業の振興につながる。
- 村の豊かな自然を活用した自然体験型観光の事業化が期待できる。
- 宿泊事業者の収入が安定する。
- 両村の交流の場となり、観光業、販売業などの活性化が期待できる。
- 本土および本島への輸送が迅速でコストが減ると、海産物や農産物などの地場産業の販路が拡大し、出荷量の増加が期待できる。
- 宅配業の参入が期待できる。



## ◎輸送手段の安定性確保について

- 台風時期はフェリーの欠航が多く、冠婚葬祭行事への列席を断念するなど困ったことが多いが、空港整備によって改善が期待できる。
- 天候に左右されない輸送手段が確保できる。
- 急な仕事や生活物資の輸送などに対応でき、便利になる。
- 急病人が出た時などの緊急医療体制が整う。

## ◎心配されている影響

- 豊かな自然を代償にして整備しても、ほとんど利用されなくなった離島の空港をいくつも見てきた。伊平屋も十分な検討をして慎重な判断をしてほしい。
- 島民の為なら、利便性が改善されるので空港はあった方がよい。ただし、村や村民の負担が増えることも考えられるため、経済性を含め十分に検討してほしい。
- 自然が破壊されるのではないかと心配。
- 観光客の増加により治安が悪化するのではないかと心配。
- 村営船舶の利用者（フェリー旅客者）が減り、船舶財源の悪化が懸念される。

# 候補地について

伊平屋村と伊是名村は、本土復帰当時から沖縄県などに対して空港の整備について要請活動を行ってきました。また、沖縄県でも、同地域の空港整備について、さまざまな検討が行われてきました。

これまでの経緯や両村との話し合いにより、伊平屋村野甫島を候補地として検討を進めることとなりました。

## ◎これまでの経緯は？

- S52 伊平屋村における空港適地調査及び基本設計を実施し、野甫地区、前泊地先、島尻地先の3候補地について比較検討を行う。
- S53 伊是名空港立地可能性調査及び基本設計を実施し、3箇所の候補地について比較検討を行う。
- S56 空港建設位置として野甫地区を選定し、国へ伊平屋空港基本計画概要書を提出。
- S62 地元野甫区の反対により、整備を見送る。
- H10 野甫地区において地権者同意取り付け作業を実施。（伊平屋村）
- H10 伊是名村は、伊是名場外離着陸場の使用を開始。
- H11 伊平屋空港基本計画策定調査を実施、検討委員会等により基本計画（沖縄県案）を策定。（野甫案）
- H12 野甫地区における空港整備計画（案）の地元説明会を実施。
- H14 野甫地区において再度、地権者同意取り付け作業を実施（伊平屋村）し、全員に近い地権者の同意が得られる。
- H17 沖縄県、伊是名村、伊平屋村で構成する「伊平屋空港協議会」を設置。

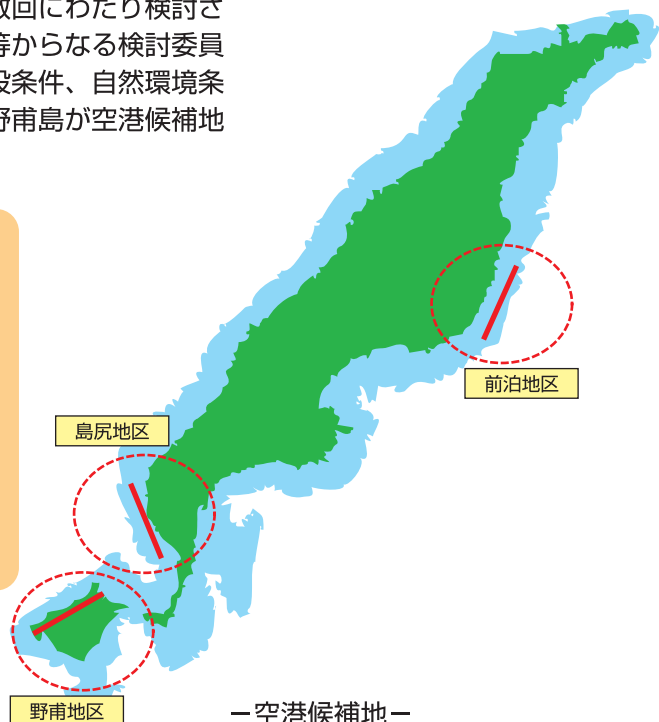
## ◎どうして野甫島が候補地として選ばれたの？①

**理由1：これまでの空港候補地に関する検討において、候補地として最適であると結論付けられていること。**

空港候補地については、昭和52年より複数回にわたり検討されました。平成11年度調査では、有識者等からなる検討委員会が設置され、その中で、運航条件や建設条件、自然環境条件などの様々な観点から検討した結果、野甫島が空港候補地として最適であると結論づけられました。

空港候補地として、野甫島案が他の案に比較して相対的に優れている3つの点

- ①島の重要な産業である漁業への影響が相対的に低い。
- ②他の候補地と比べて、建設コストが相対的に安い。
- ③他の候補地と比べて、海洋生物や海域環境への影響が相対的に低い。



## ◎ どうして野甫島が候補地として選ばれたの？ ②

**理由2： 空港候補地として既に地域住民に認知されており、地権者の同意もほぼ得られている状況にあること。**

平成10年と平成14年の2回にわたり、伊平屋村は、空港建設用地として想定される範囲（最終的に決定したものではない）の地権者に対する説明や話し合いを行いました。

これにより、空港候補地の詳細な範囲は決定していないものの、空港建設に関する地権者の同意は概ね得られています。

### 野甫島

- ・ 伊平屋村と伊是名村の間に位置（伊是名村からも近い位置）
- ・ 両村を結ぶ渡し船が運航（野甫港（野甫島）—内花港（伊是名村））



## 航空旅客数の予測

伊平屋空港～那覇空港路線の航空旅客数の予測

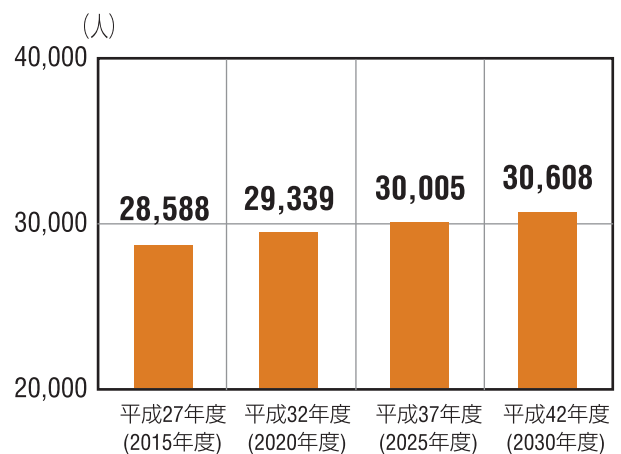
（当該区間の航空運賃を10,000円と設定した場合）

2015年度では年間約29,000人

（伊平屋村：約19,000人、伊是名村：約10,000人）

2030年度では年間約31,000人

（伊平屋村：約20,000人、伊是名村：約11,000人）



\* 座席数：39席の航空機が、1日当たり2往復就航すると想定しています。  
航空旅客数の予測値と就航便数は設定する航空運賃により変動いたします。

# 空港計画の概要

## ◎計画の概要(案)

- 滑走路 : 1,200m × 30m (予定)
- エプロン : 2バース (航空機が駐機する場所)
- 航空保安施設 : 無線・照明施設 (航空機の離着陸を支援する施設)
- 就航機材 (想定) : DHC-8型機 (通称: ダッシュエイト、39人乗り)



—就航機材DHC-8型機—



—空港イメージ図—

計画をイメージしたもので、確定されたものではありません。

皆様のご意見をお待ちしています。

詳細は、添付のご意見記入用紙をご覧ください。

お問い合わせ先

### 伊平屋空港協議会 (事務局: 沖縄県土木建築部空港課)

沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 TEL:098-866-2400 FAX:098-869-6279

ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/airport/index/>

メールアドレス [aa063002@pref.okinawa.lg.jp](mailto:aa063002@pref.okinawa.lg.jp)

沖縄県伊平屋村役場: 経済建設課 TEL:0980-46-2176 FAX:0980-46-2606

ホームページ <http://www.Vill.iheya.okinawa.jp/>

沖縄県伊是名村役場: 建設環境課 TEL:0980-45-2004 FAX:0980-45-2144

ホームページ <http://izena-okinawa.jp>